

日台交流日録 (6)

【平成17年3月2日～4月30日】

これからの日本と台湾が見えてくる

3・2 台湾車が対日輸出へ

フジサンケイビジネスアイによると、台湾の自動車メーカー福特六和は、来年から日本市場向けにマツダの「トリビュート」を逆輸出する。台湾車が日本に輸出されるのは初めて。

3・4 台北市長が都知事を表敬訪問

来日した馬英九・台北市長が首都外交。石原慎太郎知事を表敬訪問した。

3・6 マラソンで日本選手が男女優勝

東呉国際ウルトラマラソン(台北市)の二十四時間フルマラソン競技の男女で、日本の関家良一さんと藤田直美さんがそれぞれ優勝。

3・3 日本屏東会が三十九回目の訪台

戦前、屏東に居住していた日本人団体「日本屏東会」のメンバー二十二名が三十九回目の訪台。屏東県政府などを訪れ歓迎された。

3・14 反国家分裂法に懸念表明

中国の全人大が反国家分裂法を採択したことに関して細田博之官房長官は、「我が国は一貫して(台湾問題の)平和的解決以外のい

かなる解決方法にも反対だ」と述べた。

3・15 台湾問題の国際化に期待

外交部(外務省)は施政報告で、昨年の日本の「防衛計画の大綱」が初めて中国軍の動向を警戒する必要性を示し、二月に日米が共通戦略目標に台湾問題を含めたこと等の動きに触れ、台湾問題の国際化に期待感を示した。

3・18 沖縄の米が台湾へ初出荷

琉球食糧(那覇市)はウコン、ゴーヤー、長命草で着色した無洗米五トンを台湾に初出荷。健康食品として百貨店が販売する。沖縄の商業ベースでの米輸出は初めて。

3・20 人気の台北―香川・鳥取便

台湾のエバー航空は昨春に続き、台北と香川・鳥取を結ぶチャーター便の運航を開始。四月二十三日まで二十三往復四十六便運航する。台湾人観光客のニーズが高く、当初の計画の三倍の増便となった。

3・24 台湾向け超大型船の進水式

三菱重工業神戸造船所で台湾のエバーグリーングループ向け超大型コンテナ船(七万四千七〇〇トン)の進水式。同造船所の建造船では過去最大。完成は九月の予定。

3・25 台北のバスに函館観光の車体広告

毎日新聞によると、北海道観光連盟は台北市と台北県の路線バス五十台の車体で函館観光を宣伝広告中。長さ九メートルの広告には函館山の夜景や五稜郭公園などが。

3・25 村の式典に台湾の姉妹都市から

福島県玉川村の合併五十周年式典に、同村と姉妹都市関係を結ぶ南投県鹿谷郷から、陳錫悟郷長以下二十八名が出席した。

山形県酒造組合は、台湾の大手ワイン輸入業者「星坊酒業」との間で、県産統一ブランドの大吟醸酒「山形讚香」を輸出することで合意したと発表した。初出荷は五月の予定。

3・25 山形県産酒が台湾輸出へ

中国の反国家分裂法に反対する台北での百人デモに呼応し、「中国の台湾侵略に反対する日台国民集会」が都内で。日台の提携強化を参加者約四百名が決議した。

3・26 反分裂法に反対する日台国民集会

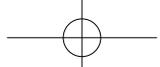
駐日代表処の陳鴻基副代表は山崎広太郎福岡市長を訪れ、福岡沖玄界地震の被災者への義捐金二百万円を寄贈。同市は台湾大地震の際、見舞金百万円を贈っている。

4・1 盛岡で台湾水墨画家の書画展

毎日新聞によると、北海道観光連盟は台北市と台北県の路線バス五十台の車体で函館観光を宣伝広告中。長さ九メートルの広告には函館山の夜景や五稜郭公園などが。

駐日代表処の陳鴻基副代表は山崎広太郎福岡市長を訪れ、福岡沖玄界地震の被災者への義捐金二百万円を寄贈。同市は台湾大地震の際、見舞金百万円を贈っている。

盛岡で台湾水墨画家の書画展



岩手県民会館で、台湾の水墨画家、朱振南氏の作品を展示する友好書画展。

4・2 スーパーで台湾農産品コーナー

台湾貿易センターはスーパーのボンラパス西新店（福岡市）に台湾農産品コーナーを開設。果物、茶葉などを十二月まで販売する。

4・3 台湾日本支部が発足

台湾团结連盟（台連）の蘇進強主席は日本李登輝友の会総会席上、日台間の新パイプとして日本支部（林建良代表）の設立を宣言。

4・4 中国に手を貸すEUを批判

石原慎太郎都知事は産経新聞のコラムで、台湾侵略を目指す中国へのEUによる武器輸出解禁の動きを批判。「ヨーロッパはかつてヒトラーが同じ民族故にと強行したオーストリアの併合の歴史を熟知しているはず」と。

4・5 愛知万博は台湾博のモデルになる

台湾紙「中国時報」で成功大学建築学部の徐明福教授は、愛知万博が「自然との共生」とのテーマで海外の注目を集めている点に触れ、将来の台湾博覧会のモデルになる指摘。

4・5 台湾訪日団が靖国神社を参拝

台湾人戦没者慰霊のため、蘇主席や立法委員（国会議員）ら台連の訪日団が靖国神社を

参拝した。台湾の政党政首の参拝は初めて。

4・6 教育部長「靖国参拝は当然のこと」

台連訪日団の靖国神社参拝について、杜正勝・教育部長（文科相）は立法院で「台湾同胞の犠牲者に思いを致すのは当然」と発言。これに駭然とした統一派メディアには毅然と、「追悼が大切。騒ぎ立てず、公正に」。

4・6 李登輝氏が台連訪日団に感謝

訪日を終えた台連訪日団一行は李登輝氏を訪問し、安倍晋三氏や石原慎太郎氏らとの会見などを報告。李氏は一行の成果を評価し、慰労と感謝の言葉を述べた。

4・7 WHO加盟支持を訴え訪日団

台湾のWHO加盟の支持を訴えるため来日した呉樹民・国策顧問ら訪問団が都内で記者会見。「アジアで日本の影響力は大きい。今年も支持表明で波及効果を」と訴えた。

4・7 原住民遺族が反靖国活動に抗議

靖国神社訴訟を起こし、台湾人戦没者の御霊「返還」を求める高金素梅立法委員の事務所に、高砂義勇隊員（原住民）の遺族約五十人が抗議に押しかけ、「英霊を政治の道具にするな」「まず遺族の意向を聞け」と訴えた。

4・8 台湾人元日本兵も反靖国を許さず

台連訪日団の靖国神社参拝に抗議すべく、高金素梅立法委員が統一派団体など約二百名と共に台連本部前でデモ。そこへ元日本兵など老世代約五十名が台連防衛のため現地に。

4・9 マラソン交流で調印

NAHAMマラソンの翁長雄志・大会長（那覇市長）と、台北県の金石国際マラソンの張子敬・大会長代理が相互の参加促進などを謳った協議書に調印。昨年のNAHAMマラソンには約百五十人の台湾人ランナーが参加している。

4・12 旧新竹州の中学同窓会が最終総会

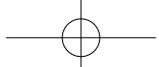
日本時代の新竹州の各中等学校合同同窓会である「新竹会」の最終総会が都内で。

4・13 台湾最大級の風力発電機受注

豊田通商が台湾で最大級の風力発電機二十三基（約五十億円）を受注。平成十八年秋、彰化県西海岸の工業地区に完成の予定。

4・13 八田與一氏のドラマが撮影へ

産経新聞によると、台湾の中華テレビは五月、日本時代に嘉南大圳を完成させた日本人技師、八田與一氏と外代樹夫人の生涯を描くTVドラマ「水色嘉南」の撮影を開始する。放送は来年五月から。



4・13 林志玲さんが日本デビュー
台湾のトップモデルの林志玲さんが日本でのタレントデビューを発表。

4・15 日台で中国情報の共有を

中国での反日デモに関し、黄昭堂・前総統府国策顧問は産経新聞で、「中国の行動に関し日米台は情報の共有を急ぐべきだ」として、中国監視網に台湾を加えるよう訴えた。

4・15 富山に観光視察団

台湾の航空会社や旅行者らが立山黒部アルペンルートなどの県内観光地視察で富山空港に到着し、齋田道男副知事や県観光連盟関係者が歓迎セレモニー。

4・16 嘉義郡役所の保存

嘉義市で日本時代の郡役所の建物（現市政府北棟）の取り壊しに反対し、文化遺産として保存を求める市民活動が建物前で行われた。

4・17 誘客で観光予約が殺到

朝日新聞長野版によると、長野県飯田市は親日家の多い台湾に誘客活動を展開した結果、四、五月の二カ月で約二千泊分の宿泊予約が取れた。県内初の高校修学旅行も二件。

4・22 台湾でのラーメン事業計画

ハチパン（金沢市）は台湾で「8番らーめ

ん」らーめん元八などを年内に三店舗開き、五年内に五十店舗、最終的には二百店舗の展開を目指すを発表した。

4・20〜24 和太鼓公演が大好評

アマチュア和太鼓グループ「御花泉」が台湾公演。迫力ある演奏で、どの会場も熱気に包まれ、大好評を博した。

4・25 愛知万博に台湾原住民が登場

愛知万博で高雄市原住民委員会の南島大使団が歌舞を披露。

4・25 JR脱線事故で台湾が慰問電報

JR福知山線の脱線事故で多数の死傷者が出たことを受け、陳水扁総統、謝長廷行政院長、陳唐山外交部長は日本政府に慰問電報。

4・27 反中デモ参加の台湾人を好意的に

週刊新潮がクラブアで、李登輝氏の写真や「日本をいじめるな」と書いたプラカードを持って都内の反中国デモに参加した在台台湾人を、「感謝すべき」と好意的に紹介。

4・27 台湾のテレビも旭川口ケ

テレビロケを支援する旭川市で昨年度、台湾二社の撮影があったことが明らかに。

4・27 生まれ変わる日本時代の演武場

中国時報によれば、高雄市文化局はこのほ

ど日本時代の武徳殿（演武場）の全面修復を終えた。市内の剣道連盟に経営を委託し、七月に文化施設としてオープンさせる方針。日本文化に触れる場所としても期待されている。

4・27 修学旅行で日本の生徒と交流

台湾の国立大里高校の修学旅行団が長野県の飯田女子高校を訪問し、華道、茶道、弓道、そばの手打ちなどで交流した。

4・28 交流協会台北所長に叙勲

陳水扁総統は（財）交流協会の内田勝久台北事務所長に大綬景星勲章を授与。「在任三年間の台日関係は最も良好。台湾での天皇誕生日祝賀会の開催、森前首相の訪台など大進展した」と、内田氏の功績を評価。

4・29 台湾人に旭日中綬章

日本語教育の発展に寄与したとして、台湾の蔡茂豊氏（71）が旭日中綬章を受章。台湾の受章者は断交後初めて。

4・30 「台湾も対象」と異例の外相明言

町村外相はニューヨークで、「もともと台湾は日米安保条約の対象になっている」と明言した。政府はこれまで中国への配慮で明言を避けており、外相としては異例の発言だ。

【永山英樹】